

永代経法要 表白文

敬うやまつて

大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に

白もうして言もうさく

それ惟おもんみれば

人間の一生は

すみやかなること 電光の如でんこうごとく

はかなきこと 朝露の如ちようろごとく

人は愛欲の中あいよくなかにあつて

独ひとり生まれ 独ひとり死しす

独ひとり去さり 独ひとり来きたる

然しかりといえども

弥陀他力の本願みだたうきほんがんに遇あえるともがらは

いのちの無常を縁として 念仏に歸す

死は 浄土往生の法縁なりと領解す

まことに これ

本願眞実の力用

二尊遣喚の恩徳なり

然れば すなわち

先に往けるものは 後を導き

後に往くものは 先を訪い

連続無窮に教法を伝持して

無辺の生死海を尽さんとす

本日ここに

当山 寺永代経法要にあたり

恭しく仏前を莊嚴して

懇ろに浄土の妙典を読誦し

広大の仏恩を謝し奉る
こうだい ぶつとん しや たてまつ

希わくは
ねが

今日 ここに集える人々
こんにち つど ひとびと

この法要を機縁として
ほうよう きえん

ますます聴聞に励み
ちようもん げ

如来の慈光照護のもと
にょらい じこうしやうご

本願念仏を喜びつつ
ほんがんねんぶつ よろこ

報恩謝徳の日々を送り
ほうおんしやとく ひび おく

俱会一処の妙果を得んことを
くえいいつしよ みやうか え

敬って言す
うやま もう